

「思考スキル」は、問題に取り組むことを通じて、みなさんに身につけてほしい力を表したものです。思考スキルは、特定の問題に限らず、さまざまな場面で活用することができる大切な力です。問題につまずいたときには、思考スキルに着目してみましょう。どのような切り口で問題と向き合えばよいのか、どのように考え進めればよいのか…など、手がかりをとらえるのに役立ちます。問題に取り組むとき、活用してみましょう。

思考スキル

○情報じょうほうを獲得かくとくする

- ・問題文から情報じょうほうや問題かぎの条件じょうけんを正しくとらえる
- ・図やグラフなどから情報を正しくとらえる

○再現さいげんする

- ・計算を正しく行う
- ・問題の指示しじ通りの操作そうさを正しく行う

○調べる

- ・方針ほうしんを立て、考えられる場合をもれや重複さかなく全て探さがし出す
- ・書き出すことを通じて、法則ほうそくを発見する

○順序じゆんじょ立てて筋道すじみちをとらえる

- ・変化する状況じょうきょうを時系列じけいれつで明らかにする
- ・複雑ふくざつな状況を要素ようそごとに順序立てて整理する
- ・前問が後に続く問いの手がかりとなっていることを見ぬく

○特徴とくちょう的な部分ぶぶんに注目する

- ・等しい部分に注目する
- ・変化しないものに注目する
- ・際立きわだった部分(計算式の数、素数そすう、約数、平方数、…など)に注目する
- ・和、差や倍数関係に注目する
- ・対称性たいじゆうせいに注目する
- ・規則きそくや周期に注目する

○一般化いっぱんかする

- ・具体的な事例から、他の状況にもあてはまるような式みちびを導き出す
- ・具体的な事例から、規則やきまりをとらえて活用する

○視点してんを変える

- ・図形を別の視点で見ると見る
- ・立体を平面的にとらえる
- ・多角的な視点で対象をとらえる

○特定じゆうきようの状況かうていを仮定する

- ・「極端きょくたんな場合を想定して考える(もし全て○○なら、もし○○がなければ、…など)
- ・不足おびなを補ったり、余分よぶんを切りはなしたりして全体をとらえる
- ・複数ふくすうのものが移動いどうするとき、特定のものを移動させて状況をとらえる
- ・具体的な数をあてはめて考える
- ・解答かいとうの範囲はんいや大きさの見当をつける

思考スキル

○知識^{ちしき}

- ・情報を手がかりとして、持っている知識^{ちしき}を想起する
- ・想起した知識^{ちしき}を正しく運用する

○理由

- ・筆者の意見や判断^{はんだん}の根拠^{こんきょ}を示す^{しめ}
- ・ある出来事の原因^{げんいん}、結果^{けいこ}となることを示す^{しめ}
- ・現象^{げんしょう}の背後^{はいご}にあることを明らかにする

○置き換え^か

- ・問いを別の形で言い表す
- ・問題^{しやうきやう}の状況を図表などに表す
- ・未知のものを自分が知っている形で表す
- ・具体的な数^ひと比を自由に行き来する

○比較^{ひかく}

- ・多角的な視点^{してん}で複数のことがらを比べる^{くら}
- ・複数のことがらの共通点^{きゆうてん}を見つけ出す
- ・複数のことがらの差異^{さいい}を明確^{めいかく}にする

○分類^こ

- ・個々の要素^こによって、特定のまとまりに分ける
- ・共通点^{きゆうてん}、相違点^{さういてん}に着目して、情報を切り分けていく

○具体・抽象^{ちゆうしやう}

- ・文章から筆者の挙げる例、特定の状況^{しんじやう}や心情を取り出す
- ・ある特徴^{とくちやう}を持つものを示す^{しめ}
- ・個々の事例から具体的な要素^{のぞ}を除いて形式化する
- ・個々の事例から共通する要素を取り出してまとめる

○関係づけ

- ・情報どうしを結び付ける
- ・要素間の意味^{とら}を捉え、情報^{きぎな}を補う
- ・部分と全体のそれぞれが互^{たが}いに与えあう影響^{えいきやう}に目を向ける
- ・ある目的^{しゆだん}のための手段^{しゆだん}となることを見つけ出す

○推論^{すいろん}

- ・情報をもとに、論理的な帰結^{ろんりてき}を導き出す
- ・情報をもとに、未来・過去のことを予測^{かこ}する
- ・情報を活用して、さらに別の情報を引き出す

小学5年 基礎力テスト(国・算) —— 解答と解説

算数 (国語と算数あわせて40分)

1

(1)	2109	(2)	9768	(3)	50
21		22		23	
(4)	3.35	(5)	1.23	(6)	$8\frac{6}{7}$
24		25		26	

2

(1)	31000	(2)	6 人	(3)	0.1 L
27		28		29	
(4)	① ア 120	イ 720	ウ 2	②	480 円
(完答) 30				31	
(5)	① 14 時と 15 時の間	②	16 時		
32			33		
(6)	① 点 B	点 H	②	100 cm	
(完答) 34			35		

3

(1)	28 cm	(2)	40 cm ²
36		37	

4

(1)	10 人	(2)	7 人	(3)	6260 円
38		39		40	

一

国語

(国語と算数あわせて四十分)

問八
工
52
問九
ウ
53

問五
工
49
問六
ア
50
問七
や
め
る
51

問二
イ
46
問三
イ
47
問四
負
い
目
が
あ
っ
た
48

問一
㉑
副
41
㉒
覚
42
㉓
関節
43
㉔
当然
44
㉕
照
45

(配点)

算数

- ① 各2点×6=12点
- ② (1)~(5)各2点×7=14点 (6)各3点×2=6点
- ③ (1)3点 (2)4点
- ④ (1)3点 (2)(3)各4点×2=8点

国語

- 問一……各2点×5=10点
- 問二~問九……各5点×8=40点
- 計100点

【解説】

② いろいろな文章題

(1) **A1** 情報を獲得する

千の位までのがい数にするので、百の位を四捨五入ししごにゅうします。

百の位は6なのでくり上がり、31000

(2) **A1** 情報を獲得する 再現する

$$(201 + 3) \div 34 = \underline{6 \text{ (人)}}$$

(3) **A1** 知識 情報を獲得する

$$1 \text{ L} = 1000 \text{ mL}$$

$$\text{飲んだ水は、} 300 \times 3 = 900 \text{ (mL)} = 0.9 \text{ (L)}$$

$$\text{残った水は、} 1 - 0.9 = \underline{0.1 \text{ (L)}}$$

(4) **A2** 情報を獲得する 再現する

$$\textcircled{1} \text{ (半ダースの代金)} = \text{(1ダースの代金)} \div 2$$

代金を求める式は、 $120 + 720 \div 2$ となります。

$$\text{ア} = \underline{120}、\text{イ} = \underline{720}、\text{ウ} = \underline{2}$$

$$\textcircled{2} \quad 120 + 720 \div 2 = 120 + 360 = \underline{480 \text{ (円)}}$$

(5) **A2** 情報を獲得する

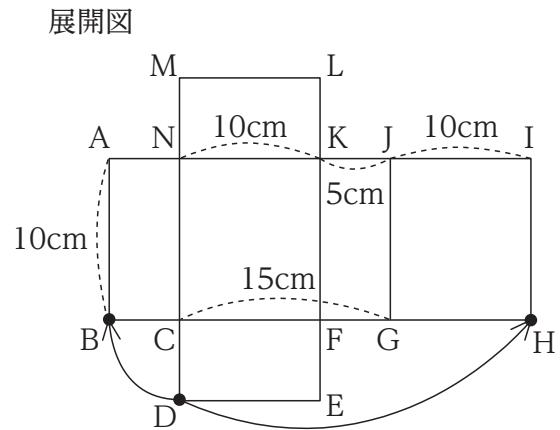
① 目もりの差が一番大きいのは、グラフのかたむきの一番大きい14時と15時の間で、6度の差があります。

$$\textcircled{2} \quad 6 \text{ 時の気温は} 8 \text{ 度なので、それより} 8 \text{ 度高い気温は} 8 + 8 = 16 \text{ (度)}$$

1回目に16度になったのは9時、2回目になったのは16時

(6) **A2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する

① 右の展開図が示すように、Dと重なる点はBとH



② 右の展開図が示すように、

$$CG = NJ = 15\text{cm}$$

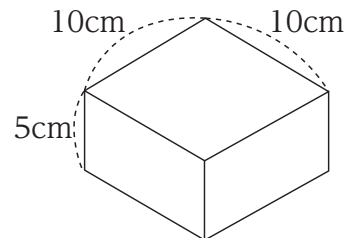
$$NK = JI = 10\text{cm}$$

$$KJ = NJ - NK = 15 - 10 = 5 \text{ (cm)}$$

底面を1辺10cmの正方形と考えると、高さが5cmの直方体になり、右の見取り図のようになります。

直方体の辺は、たて、横、高さが4本ずつなので、 $(10 + 10 + 5) \times 4 = \underline{100 \text{ (cm)}}$

見取り図

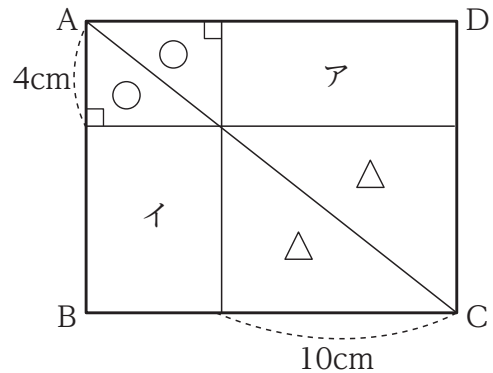


③ 平面図形

(1) **A2** 特徴的な部分に注目する

アのたての長さは4cm、横の長さは10cm

まわりの長さは、 $(4 + 10) \times 2 = \underline{28 \text{ (cm)}}$



(2) **B1** 特徴的な部分に注目する

長方形を対角線で分けた三角形ABCと三角形ADCは、形も大きさも等しい直角三角形なので、面積も等しいことになります。

また、○どうし、△どうしの三角形も同じように面積が等しいので、アとイの面積も等しいことがわかります。

したがって、イの面積 = アの面積 = $4 \times 10 = \underline{40 \text{ (cm}^2\text{)}}$

4 表の読み取り

(1) **A2** 情報を獲得する

たて、横3つのます目のうち2つがわかると残りの1つもわかります。全体は25人なので、完成した表は右のようになり、ジュースを選んだ人は10人です。

お弁当と飲み物を注文した人数

お弁当 \ 飲み物	ウーロン茶	ジュース	合計
おにぎり	8	$(12-8=)$ 4	12
サンドイッチ	$(8-5=)$ 3	5	8
ホットドック	4	$(10-4-5=)$ 1	$(4+1=)$ 5
合計	$(8+3+4=)$ 15	$(25-15=)$ 10	25

(2) **B1** 情報を獲得する 調べる

$250 = 130 + 120 = 150 + 100$ より、

250円はらう人が注文したのは「おにぎりとジュース」または「サンドイッチとウーロン茶」の組み合わせになります。

$4 + 3 = \underline{7}$ (人)

(3) **B1** 情報を獲得する 再現する

注文したお弁当と飲み物のそれぞれの合計金がくの和になるので、

おにぎり： $130 \times 12 = 1560$ (円)

サンドイッチ： $150 \times 8 = 1200$ (円)

ホットドック： $160 \times 5 = 800$ (円)

ウーロン茶： $100 \times 15 = 1500$ (円)

ジュース： $120 \times 10 = 1200$ (円)

全体の合計は、 $1560 + 1200 + 800 + 1500 + 1200 = \underline{6260}$ (円)

【解説】

① 重松清「エイジ」(朝日新聞社)から出題しました。自分の気持ちをわかっ
てもらえないもどかしさ、そして、自身でもその気持ちをうまく言語化でき
ないいらだちをかかえている「ぼく」の心情を丁寧に読みとりましょう。

問一 A2 知識

四年生までの漢字を問う問題です。とめやはねまで、ていねいに書きま
しょう。

問二 B1 関係づけ

山内さんが「ぼく」に伝えた内容は、「まわり見えなくなる」というマイナ
スの情報ですから、ここには「こっそり」が入ります。第二段落の二文目に、
「岡野は急に性格がキツくなった」とあるので、「ぼく」がそのことに前から
気づいていたことになる「エ」や「ぱり」は不適切です。

問三 B1 関係づけ

岡野の「人間変わる」というのは、山内さんが指摘していた「まわり見え
なくなる」ということです。そして、その具体例は、——線②の直前の段落
に書かれています。この段落に書かれている内容と合う選択肢はイです。ア
は他人に対し高圧的な態度をとる、という内容が書かれていません。また、「高
校生の使うような：組み入れて」とあり、高校生のような質の練習をこなし
ていることは読み取れますが、量についてまではわかりません。ウ「みんな
から認められる」「配慮」、エ「気をつかいすぎる」の部分が本文中からは読
み取れません。

問四 B1 理由 推論

副キャプテンとして、友人として、「ぼく」が岡野に本音をぶつけられな
かったのはなぜか、という問いです。直後に、「負い目があった。ぼくはいっ
とうたいせつなことを岡野に話していなかった」とあります。一言言わなけ
ればならないことを岡野に話していないという負い目がある自分が、岡野に
口はばつたいことなど言えない、ということなのでしょう。

問五 B1 理由 推論

「ぼく」がかくしていた膝の痛みのことを告白したときに、岡野は、「新人
戦には…」と言っており、「ぼく」の体のことよりも試合のことをまず心配し
ています。そのことで「ぼく」は傷ついたのでしょう。岡野の発言は「キャ
プテンとしてトウゼン」だとは認めながらも、「違う言葉を、違うふうに関き
たかった」とあることから、仲間・友人としての言葉が聞きたかったのだと
想像できます。そのことから、答えはエです。ア「ぼく」が出場しないと勝
てないと岡野が思いこんでいる、ウ「岡野が…暗に強要してきた」と、「ぼく」
が受け取ったとは読み取れませんし、そのことで冷めた気持ちになったとも
読み取れません。イ「ぼく」が岡野に膝のことを気づいてほしかった、とい
うことは本文中から読み取れません。

問六 B1 推論

カタカナ表記は、外来語や、外国のものや人、学術的な動植物名、動物の
鳴き声などに使います。ここでは「健気」という日本語をあえてカタカナで
「ケナゲ」と表現しています。これは「健気」の本来の意味(①心がけがよく
しつかりしている。②力の弱い者や幼い子が困難なことに立ちむかっている。)
の意味ではない、ということを示すために使っています。雑用は、陰ながらチー
ムに尽くしたいという気持ちからではなく、単に「やってみた」だけで、す
ぐ後に「おもしろくもなんとなくなかった」とあるように、「ぼく」は雑用して
いるこの現状をいいことだとは思っていません。このように、自分で自分の
本心をおかしている気持ちがあるからこそ、軽い感じが出るカタカナを使い、
「ケナゲ」と言っているのでしょう。

問七 B1 推論

——線⑥の「スポーツバッグ」は、部活のカバンのことだと考えられます
から、部活はやめる、という意味でしょう。直後に、前日、たわむれに雑用
係をしていただけなのに、先生からほめられ、「すごく、いや」な気持ちになっ
た、というエピソードが書かれています。これが「スポーツバッグを提げ
ることは、もう、ない」の原因だと考えられます。

問八 **B1** 推論

吉田先生が運動できなくなった「ぼく」のことをどのように思っているかは、――線⑦の直後から読み取れます。練習に顔を出した「ぼく」に、吉田先生は「チームのために尽くすことは試合で活躍するよりもたいせつだからな」と言い、「おまえはえらいぞ」と褒めています。このことにふれているのはエです。ア～ウの内容は、いずれも本文からは読み取れません。

問九 **B1** 関係づけ 推論

――線⑧では、膝につけるサポーターを買うための二千円を、「ぼく」はゲームセンターで使ってしまったています。サポーターはバスケットボールの試合に出るために使うものであり、ここから「ぼく」は膝を悪くして運動できなくなったことでバスケットボールへの熱意がなくなってしまったと考えることが出来ます。よって、正解はウです。国語の問題では、――線の近くだけでなく、このように――線そのものに着目して解くことが少なくないの
で注意しましょう。アは、岡野が膝を悪くするきっかけを作ったという点が誤りです。イの「家族への怒り」は本文から読み取れません。問八でも見たように、吉田先生は「ぼく」のことを褒めているので、エの「自分のことを悪く言ってきた吉田先生」も誤りです。